

活動報告

(2002年1月-3月)

順不同、一部敬称略

<前ページからの続き>

「道路サービスの評価と地域間需要格差の調査研究 - CVM (Contingent Valuation Method) の応用分析 -」社会資本研究会、3月

高阪章教授 "Costs of Globalization: A Quest for New Development Strategies" (報告) Paper presented at the International Symposium organized by OSIPP, February 13-14, 2003.

"Infrastructure Development in the Pacific Region" (報告) Pacific Economic Outlook Forecasters Meeting, Osaka, March 17-18, 2003.

McKinnon, Ronald I, "Japan's Negative Risk Premium in Interest Rates: The Liquidity Trap and Fall in Bank Lending" (司会) Special Seminar, OSIPP, March 24, 2003.

山内直人教授 「NPOと評価」(モデレータ) 政策分析ネットワーク政策メッセ2003, 明治大学, 1月11日.

「NPOとソーシャル・キャピタルの形成」(モデレータ) 日本NPO学会第5回年次大会, 帝塚山大学学園前キャンパス, 3月15日.

Implication of social capital for business (as chairperson), International Forum on Social Capital for Economic Revival, Economic and Social Research Institute, Cabinet Office, Tokyo, March 24, 2003.

床谷文雄教授 Mark Nolan, "Comparative Environment for Public Participation in the Justice System" (討論者) 国際シンポジウム「太平洋西洲地域の制度改革と国家間連携の将来」国際公共政策研究科(科研)2月13日

松繁寿和教授 「中小企業における査定、昇進、賃金決定」(発表) 関西労働研究会, 2月

米原謙教授 「日本の文明開化思想」韓国東洋政治思想学会・ソウル, 3月27-28日

星野俊也助教授 「日米関係」第3回日イラン会議・テヘラン, 1月

「人道危機と人間の安全保障の確保」第27回広島大学平和科学センター・シンポジウム・広島, 1月

"Making Asia of Our Own: Prospects for New Regional Cooperation in Asia" 外務省「グローバル・コース・エクスチェンジ」プログラム2003(福岡), 1月

国連大学シンポジウム「UN Peace Operations and the Asia Pacific Region」(司会) 国連大学, 東京, 2月

広島平和研究所シンポジウム「Resolution and Prevention of Conflicts and the Role of Civil Society」(討論者) 広島平和研究所, 東京, 2月

OSIPP政策フォーラム: 大村昌弘氏「日本の政府開発援助の理念について」2月(司会), 川上隆久氏「多国籍軍とPKO - 国際安全保障の2つのツール」2月(司会), ステファン・ジョベ「Foreign & Security Policy, Canadian Style」3月(司会) OSIPP

"The US Presence and Security in North-East Asia: A Perspective from Japan," the Third Japan-Korea Seminar on "Security in North-East Asia and Japan-Korea Relations," the United Nations University,

Tokyo, Japan, March 2003. 日本国際連合学会第3回日韓セミナー・東京, 3月(報告)

「イラク・北朝鮮問題と今後の世界」大阪商工会議所第128回大阪インターナショナル・フォーラム 3月(講演)

テレビ・ラジオ解説「イラク情勢」毎日放送、毎日放送ラジオ、よみうりテレビ、『産経新聞』, 3月

Robert D. Eldridge 助教授 「沖縄関係公文書・私文書を中心に アメリカ人研究者として」沖縄関係英文資料を読む 沖縄県立図書館歴史講座, 1月15日

「沖縄と日本の安全 基地の現状維持は限界」『産経新聞』新・世界学講座, 1月21日

"The U.S. Naval Administration of the Ogasawara Islands, 1945-1968" 科学研究費(基礎研究B) 研究発表会・下田市, 2月3日

木戸衛一助教授 「東ドイツにおける歴史の没収?」ドイツ現代史研究会(立命館大学白雲荘), 1月26日

今川拓部助教授 "Pro-competitive Policies towards Information Society for All" (モデレータ) The EU-Japan ICT Symposium: "Japan-EU Cooperation towards Information Society for All", 3月

「デジタルデバイドの実証分析」(発表) 神戸大学経済経営研究所 RIEB セミナー, 2月

「情報化のパラドックスに学ぶ」(講演) 全国デジタル・オープン・ネットワーク事業協同組合 ワンサイン普及セミナー, 1月

"Defining the Information Society" (パネリスト), 世界情報サミットアジア・太平洋地域会合サイド・イベント, 1月

瀧井克也助教授 "Adaptability vs. Productivity" (発表) 大阪経済大学, 1月25日

鈴木亘助教授 「保育サービス供給の経済分析 認可・認可外保育所の比較」(共著) 平成14年度秋期日本経済学会(於広島大学)10月

「GISを用いたホームレス地域分布の分析」(単著) 平成14年度秋期日本経済学会(於広島大学)10月

「終末期医療の自己負担に関する実証分析」(単著) 平成14年度日本財政学会(於東京大学)10月

"An Economic Assessment of Tele-health: The WTP Approach," APT Conference on Mobile Communication Technology for Telemedicine and Triage, Jakarta, Indonesia 10月(共著)

"Innovation and Technological Management of the Japanese Telecare and Telehealth Industry," (共著) 3rd International Symposium on Management of Technology and Innovation (ICMIT2002), Hang Zhou, China, 10月

「CVMによる便益評価と費用負担分析: 香川県旧寒川町の在宅健康管理システム」(共著), 第22回医療情報学連合大会, 福岡市, 11月

"A Economic Assessment of Telecare: the WTP Approach," (共著) OSIPP/NIRA Workshop on Policy Evaluation, OSIPP, 11月

重政公一助手 Ideational Construction of Second-Track Diplomacy: The Case of Council for Security Cooperation in the Asia Pacific International Studies Association, Portland, Oregon 25 Feb.-1 March, 2003

西出優子(D1) 「大学と地域NPOの連携: 日米の取り組み」(報告) 3月15日, 「地域におけるNPOの評価: 米国の

実践評価」(西出順郎と共同報告) 3月15日, 「地域における大学の役割」3月15日-16日(ポスター展示) 日本NPO学会第5回年次大会, 帝塚山大学

小林真樹(M2) 「市民がつくる北東アジアの平和 今こそ語りあおう非核地帯を!」(司会) NPO法人ピースデボ, 高槻市現代劇場, 2月22日

フィールドワーク、調査など

辻正次教授 中国におけるITの実態調査 2月

高阪章教授 「途上国の債務削減」に関する現地調査(米国) 2月2日~2月9日

「途上国の開発戦略」に関する現地調査(英国) 2月23日~3月2日

床谷文雄教授 「自治体の子育て支援政策について」(訪問調査) 豊中市、京都市, 2月

ドイツの児童・高齢者保護について(児童青少年局、成年後見協会など), フライブルク市(ドイツ連邦共和国) 3月17日~21日

星野俊也助教授 東ティモール調査 東ティモール, 3月 北海道(北方領土問題の現状) 北海道, 3月

学外の公的活動など

黒澤清教授 財団法人核物質管理センター理事 平成15年4月1日から平成17年3月31日まで, 3月

辻正次教授 情報通信審議会委員(総務省)

松繁寿和教授 大阪府政策形成研修 講師(大阪府) 3月 関西生産性本部運営部会(関西生産性本部) 3月

星野俊也助教授 文部科学省科学技術・学術審議会専門委員(研究計画・評価分科会) 就任, 3月

Robert D. Eldridge 助教授 「沖縄の歴史と日米関係」の講義 外務省主催「在日米軍オリエンテーションプログラム」2003年1月22日

国際交流企画・ロバート先生を招く(川西市清和台南小学校) 1月27日

鈴木亘助教授 保育サービス価格研究会委員(内閣府国民生活局) - 3月

年金制度研究会委員(厚生労働省・年金総合研究所) - 3月 消費・貯蓄動向と政策運営に関する研究委員会委員(経済産業省) - 3月

公的扶助研究会、女性と年金研究会(厚生労働省・国立社会保障人口問題研究所) - 3月

介護バネル調査研究会 内閣府社会経済総合研究所 - 3月

萩春暉助手 豊中市外国人市民会議設置準備会議 委員(豊中市) 1月

瀧井幸子(D3) 徳島県徳島市行政評価委員会委員

2002年12月~2003年1月

受賞、研究助成受領

松繁寿和教授 マイクロビジネスの経済分析 中小企業研究奨励賞(準賞) 2月

橋本介三教授 (財) 関西エネルギー・リサイクル科学研究振興財団 エネルギー・リサイクル分野分野試験研究助成「最終廃棄物リサイクル事業の社会的評価と利用促進政策の研究: エコレンガを中心に」3月

下村研一助教授 (財) 関西エネルギー・リサイクル科学研究振興財団 総合防災科学分野試験研究助成「応用一般均衡(CGE)モデルを用いたライフライン防災投資の費用便益分析」3月

重政公一助手 日本国際政治学会国際学術交流基金助成, 2月

瀧井 克也 助教授

(企業の経済学、組織の経済学、経済成長論)

「まじめに研究に取り組むうち、自然にこの仕事を選んでいた」と学生時代を振り返る瀧井助教授は、90年に大阪大学人間科学部を卒業し、93年同大学大学院経済学研究科後期過程を退学した後、95年まで同大学経済学部で寄附講座教官を務めた。同年、向学心と知的探究心に燃えて、米国・ペンシルバニア大学大学院経済研究科に留学、2000年にPh.D(経済学)を取得し、英国・エセックス大学講師を経て、2002年よりOSIPPの助教授に。

学生時代に影響を受けた書物は、という質問に猪木武徳先生の著書『経済思想』と即答。「経済系の学生だけでなく、すべてのOSIPP学生に読んで欲しい」と、同氏著『自由と秩序 競争社会の二つの顔』(中公叢書)を推薦する。法律、政治、経済の幅広い分野にまたがる内容を含むこの本は、競争社会は完全なシステムではない、という認識のもとに、教育やグローバル化、民主主義などの様々なテーマを論じている。豊富なテーマ設定が多くの読者に考える材料を提示してくれるため、幅広い研究テーマを抱えた学生が集まるOSIPPにはぴったりの推薦図書といえる。

瀧井助教授自身もアメリカ滞在中、日本の知的な専門家の層の薄さを痛感したという。「日本には、研究者を含め、専

研究プロローグ

門家を育てる土壌が希薄。専門家はむしろ冷遇されている」という。政策に関しても、「学術的根拠のない議論が多すぎる。理論、データ解析の手法、さらには歴史などをまず学び、そのうえで、自分の分野と関係の深い時事問題に対して根拠ある提言のできる専門家になってほしい」と語るとき、それまでの柔から気さくな表情から、日本の将来に真摯な眼差しを向け続ける「専門家」の顔へと一変した。

経済学に限らず、研究に現場の知識のフィードバックは不可欠、という瀧井助教授に、最後にOSIPPの院生に向けてのアドバイスをこう送ってもらった。「経済学に関して言えば、最初の1年はよく予習・復習して、しっかりと基礎を固める大事な時期。様々なバックグラウンドを持つ学生が集まるOSIPPだからこそ、今のうち、苦しくても基礎的な知識の習得から逃げないでほしい。」